施工担当者様向け Ver1.3

RS余剰(PPAモデル/ZEH補助金パック)YRSPAZ 設定簡易マニュアル

1. はじめに

本マニュアルは、RS余剰(PPAモデル/ZEH補助金パック)(以下、本製品)の施工・設定に関する事項を簡易的に記 載したものです。安全上の注意や施工・設定に関する詳細な内容は、「RS余剰(PPAモデル/ZEH補助金パック)施工・ 取扱説明書」に記載されております。必ず「 RS余剰(PPAモデル/ZEH補助金パック)施工・取扱説明書」をご一読いた だいた上で、本マニュアルをご参照ください。

2. 準備物・同梱物/施工の流れ

本製品の施工に必要となる準備物は表1を、同梱物は表2を参考にご準備ください。

表1. 進備物

表2. 同梱物

	準備物	同梱物	数量
マニュアル類	パワーコンディショナ、周辺機器の施工マニュアル	ELセンサ	1
	RS余剰(PPAモテル/ZEH補助金バック)施工・設定簡易マニュアル - (本書)	ELセンサ用電源アダプタ	1
	RS余剰(PPAモデル/ZEH補助金パック) 施工・取扱説明書(ZEH補 助金用途向け)	ELセンサ用アンテナ	2
	パワコン・計測ユニット間通信ケーブル	計測ユニット (EIGセンサ)	1
	パワコン間通信ケーブル(複数台設置の場合) 計測コニット国電圧検知用ケーブル(V//E の2mm x 3芯 銅単線)	主幹用電流センサ(主幹計測CT)	2
	計測ユニット用ブレーカ(103W AC100/200V、定格20A)	LANケーブル (0.5m)	1
	計測ユニット・ELセンワ間接続用LANクーノル(ガテゴリ5以上) 圧着端子(計測ユニット用ブレーカへの配線用)	壁取付け用木ネジ	3
	絶縁キャップ(計測ユニット用ブレーカへの配線用) パルスケーブル(CPEVS-Ф0.9-1P相当) ^{※1}	配線用圧着端子	3
	Modbus通信用ケーブル (FCPEV-Φ0.9-2P相当) *1 発電計測用ファートメータ*2	絶縁キャップ	3
	(S2MS-RS22 50Hz/60Hz、S2RS-TLNS22r 50Hz/60Hz など)	結束バンド	2
	王幹用電流センサケーフル ^{※2}	スタートガイド	1
	分岐計測用電流センサケーブル ^{※2} 結束バンド	ログインカード	1
	コーキング材 っ世の用パテ	商品登録シート	1
	ボードアンカーなどの壁面補強材	安全上のご注意	1
機器類	RS余剰(PPAモデル/ZEH補助金パック)	施工・設定簡易マニュアル(本書)	1
	LANケーフル(カテコリ5以上) 設定用Windows PC(Google Chromeブラウザ、LANポートが必要)	※1 発電計測用スマートメータ (子メータ) をご	利用の場合のみ
工具類	工具類 ドライバー トルクドライバー	必要となります。こ利用の発電計測用人マー (子メータ)の通信方式に合わせてご用意く	トメータ ださい。
	ニッハー 圧着工具	※2 必要に応じてオブションでご購入いただく必	要があります。
	セラミックドライバー	※3 事前にご契約者様から管轄の電力会社様への ご準備いただけない場合、設定を完了できず	申請が必要です 計測を開始でき
その他	売買電計測用スマートメータのBルートID及びパスワード ^{※3}	ない場合がございます。	

本製品の施工手順は、図1の通りです。



3. ELセンサの設定

3-1 ELセンサの起動

ELセンサに電源アダプタを接続し、ELセンサを起動してください。

- 3-2 設定用PCのIPアドレス設定
 - (1) スタートメニューより「Windowsシステムツール」 クリックします
 - (2) 「コントロールパネル」をクリックします
 - (3) 「ネットワークとインターネット」をクリックします
- (4) 「ネットワークと共有センター」をクリックします
- (5) 「アダプターの設定の変更」を選択します
- (6) 「イーサネット」を右クリックします
- (7) サブメニューより「プロパティ」をクリックします
- (8)「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4 をダブルクリックします
- (9) 「次のIPアドレスを使う」をクリックします (図2,
- (10) IPアドレスに「192.168.11.200」を入力します
- (11) サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力しま
- (12) OKをクリックします(図2、④)
- 3-3 ELセンサへのログイン
- (1)ELセンサのLANポートと設定用PCのLANポートを LANケーブルで接続します
- (2) Google Chromeを起動して、アドレスバーに「192 と入力します
- (3) キーボードの「Enter」 キーを押します
- (4) ユーザー名に「user」と入力します(図3、①)
- (5) パスワードに「user」と入力します(図3、2)
- (6) 「ログイン」をクリックします(図3、③)
- 3-4 LTE電波強度の確認
- (1) ELセンサのサーバ通信ランプが消灯していることを確

- (2) [LTE通信 | をクリックします(図5、①)
- (3)「電波強度」の項目を確認します(図5、②)

【注意】 アンテナバーの本数が3本以上となる状態 (電波強度-85dBm以上)を推奨します。 アンテナバーが2本以下の場合は、アンテナバーの 本数が3本以上となるようELセンサの設置場所等を 変更してください。

	インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ	×
を	全般	
	ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 影 ください。	:取得することがで 決定を問い合わせて
-	○ IP アドレスを自動的に取得する(O)	
	 ※の IP アドレスを使う(S): 	
	IP アドレス(I): 192 . 168 . 11	. 200 (2)
	サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255	<u> </u>
	デフォルト ゲートウェイ(D):	
)]	○ DNS サーパーのアドレスを自動的に取得する(B)	
-)	 ③ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E): 	
(<u>1</u>)	優先 DNS サーパー(P): 	·
(図2、②)	代替 DNS サーバー(A):	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ます(図2、③)	□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(V)
	Фок	キャンセル
	図2. IPアドレス設	定
	← → C ① 保護されていません 192.168.11.100/login	.html 🛧 🗄
168 11 100	2-#8°	
100.11.100]	user	
	1(27-5*	
	(2)	
	<u>ロヴィン</u> 3	
	図3. ELセンサログイン画	」 回面
	起動 サーバ 設備	
[認します (図4)		
		ーンプ
1/00 0-	entra llas 8042	
VPP Co		
	AN通信 G-SLINM通信設定	
• <u>w</u> •接続	機器設定 愛徳法度 45.40m	
• 携	- X ー ク情報	
• 設備	設定	
 設定 ファ 	<u>産認</u> ームウエア情報	
27		

- ハスワード変更
 ログアウト
- © NTT SMILE ENERGY, All Rights Reserved

図5. LTE電波強度の確認

3. ELセンサの設定(続き)

- 3-5 Wi-SUN 通信の設定 ご契約者から入手したBルートID及びパスワードをELセンサに設定します。
 - (1) 「Wi-SUN通信設定」をクリックします(図6、①)
 - (2)「認証ID」にBルートIDを入力します(図6、②) 【注意】
 - 大文字と小文字の区別にご注意ください。
 - (3) 「パスワード」にBルートのパスワードを入力します(図6、③) 【注意】 大文字と小文字の区別にご注意ください。
 - (4) 「保存」をクリックします(図6、④)



3-6 子メータの設定

(Modbus通信を使用し、発電計測用スマートメータで計測された電力量を取得する場合のみ、設定が必要になります。)

- (1) 発電計測用スマートメータ(子メータ)の設定が正しく 行われていることを確認してください(図10)
- (2) 「子メータ情報」をクリックします(図7、①)
- (3) 「子メータ台数」のプルダウンから「1」を選択します (図7、2)
- (4) 「ユニットNo.」のプルダウンから「01」を選択します (図7、③)
- (5) 「計測対象」のプルダウンにて「発電量」を選択します (図7、④)
- (6) 「保存」をクリックします(図7、⑤)



3-7 設定確認·計測開始

- (1) 「設定確認」をクリックします(図8、①)
- (2) 設定内容にあやまりがないことを確認します
- (3) 「計測開始」をクリックします(図8、②) 【注意】 「計測開始」がクリックされていない場合、ELセンサは 計測を開始しません。
- (4) 2~3分程度経過すると、Wi-SUN通信が確立します 表示された結果がすべて〇印であることを確認してください X印がある場合、該当する項目を再度設定してください 【注意】WiSUN 設定にX印がある場合、「Wi-SUN 通信設定」 の画面にて、「電波強度が不足しています」の文字が消え、 電波強度が表示されていることを確認してください。



図8. 設定確認·計測開始

3. ELセンサの設定(続き)

- 3-8 ELセンサのランプ確認 ELセンサの設定が完了していることを確認するために、以下の手順でランプを確認してください。
- (1) 一度電源を切ります ELセンサーの (2) 再度電源を投入します (3) 再起動後、ELセンサのランプが正常 起動中 状態になることを確認してください サーバ通信確立中 サーバ通信確立、 設備通信確立中 正常 (設備、サーバ通 異常 (ELセンサ 異常 (サーバ通信 異常 (設備通信)

3-9 ELセンサの通信確認

- (1) ELセンサにログインしてください (3-3 ELセンサへのログイン参照)
- (2) 画面左メニューの「ファームウェア情報画面」をクリック してください(図9、①)
- (3) 「エコめがね接続確認」 ボタンをクリックしてください (図9、2)
- (4) 「エコめがね サーバ接続状態」の表示が「正常」となるこ とを確認してください(図9、③)
 - サーバと接続できている場合………… 「正常」
 - サーバと接続できていない場合………… 「異常」 サーバと接続確認中の場合…………「確認中」
- (5) 「ログアウト」ボタンを押下して、ログアウトしてください
- (6) ELセンサから設定用PCに接続しているLANケーブルを外して
 - ください
- 4. 計測ユニットの設定

裏面へ続

以下の手順に従って、計測ユニットの設定を実施してください。

[注意】 初期設定手順において、「NG」となる場合は、エコめがねサ ご連絡いただいた際は、「NG」となった初期設定手順のNoを
No.	期設定手順
1	以下を確認する。 ① 本紙裏面の「エコめがね取り付け確認」を参考に、設置・配線が正しく行われていることを確認する。(図1 ② 発電計測用スマートメータ(子メータ)の設定が正しく行われていることを確認する。(図10) (パルス信号を使用し、発電計測用スマートメータ(子メータ)で計測した発電量を取得する場合のみ)
2	太陽光発電用ブレーカが「OFF」であることを確認し、接続箱のすべての開閉器または、パワ (以下、PCS)の入力開閉器を「ON」にする。 計測ユニット用ブレーカを「ON」にした後、約1分で起動が完了し、表示部に「ショキセッ 表示されていることを確認する。
3	「ショキセッテイカイシ」が表示されている状態で「セット」ボタンを押下し、「▼/▲」ボタンを 「ヨジョウ」を選択し、「セット」ボタンを押下する。 →「ヨジョウ」以外を選択された場合、正しく計測することができません。
_	

の状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ	
	点灯	消灯	消灯	
1	点灯	点滅 ————————————————————————————————————	消灯	
	点灯	点灯	点滅	
值信確立)	点灯	点灯	点灯	
苗 奈)	消灯	点滅	点滅	
א יה)	消灯	消灯	点滅	
言異常)	点灯	消灯	点灯	
異常)	点灯	点灯	消灯	

表3. ELセンサの状態確認表



図9. ELセンサの通信確認

ービスヘルプデスクまでご連絡ください。

をお伝えください。

	計測ユニット表示部	チェック
11~14)		
ーコンディショナー テイカイシ 》」 と	ショキセッテイガイシ 》	
を押下し買取モードの	カイトリモート * >ヨシ * ョウ	

4. 計測ユニット、スマートメータの設定(つづき)

4. 計測ユニット、スマートメータの設定(つづき)

【注意】

初期設定手順において、「NG」となる場合は、エコめがねサービスヘルプデスクまでご連絡ください。 ご連絡いただいた際は、「NG」となった初期設定手順のNoをお伝えください。

No.	初期設定手順	計測ユニット表示部	チェック
4	「ガイブハツデン」が表示されている状態で、「▼/▲」ボタンを押下し「ナシ」を選択し、「セット」 ボタンを押下する。	カペイフ~ ∩ ツテ~ン >ナシ	
5	「サーバーツウシンカクニン ジッコウシマスカ」が表示されている状態で「セット」ボタンを押下し、 しばらくすると「サーバーツウシンカクニン OK」が表示されることを確認する。 →「NG」となる場合は、図9のELセンサのランプ状態を確認し、ELセンサが正常起動していることを確認してください。	サーハ [、] ーツウシンカクニン OK	
6	「サーバーツウシンカクニン OK」が表示された後、「セット」ボタンを押下し、現在の日時が表示されること を確認する。	9°⊐05∍09° 19701701 00:00	
7	現在の日時が表示されている状態で「セット」ボタンを押下し、「PCSトウロク>1」が表示されたら、 「▼/▲」ボタンを押下し、PCS登録台数(最大6台)を選択する。右図はPCSを3合設置している場合です。 → 必ず設置されているPCSの台数分登録してください。設置台数と登録台数が一致しない場合正しく計測することができません。	PCSトウロク >3	
8	PCS登録台数が表示されている状態で「セット」ボタンを押下し、しばらくすると「OK」が表示されることを確認する。 →「NG」となる場合は、以下を確認してください。確認後、「モード/クリア」ボタンを押下し、手順No.7に戻り再度実行 してください。 ①PCSの配線・設定が正しいか。 ②PCSの「ユニットNo.」が登録されているか、また重複していないか。	PCSトウロク * 3/3 OK	
9	「▼/▲」ボタンを押下し、登録台数分のパワコンNo.、ユニットNo.、シリアルNo.(製造番号)を確認する。	PCS01 (01) * S/N9999999999	
10	「セット」ボタンを押下し、「PCSトウロク >Noヘンコウシマスカ? No」と表示されていることを確認し、 「セット」を押下する。	PCSトウロク >Noへつコウシマスカ? No	
11	「ケイトウジョウタイ カクニン」と表示されるので、「セット」ボタンを押下し、「ケイトウデンアツ(U/W) OK」と表示されていることを確認する。確認後、「セット」ボタンを押下する。 →「NG」となる場合は、電圧検知ケーブルの接続を確認してください。	ケイトウテドンアッ(U/W)OK 100.0V/ 100.0V	
12	「シュカンケイソクセンサ ホウコウカクニン」が表示されている状態で、「セット」ボタンを押下し、 「デンリョク(ハツデン)OK」と表示されることを確認する。 → PCSの発電電力が「114」以上表示されている場合は、太陽光発電用ブレー力が「ON」になっている可能性がございます。 太陽光発電用ブレーカを「OFF」にし、「モード/クリア」ボタンを押下して再度実行してください。	〒~つりョク(∩ツテ~つ)OK* PCS : 0 ₩	
13	U相側、W相側のコンセントにそれぞれ150W以上の電化製品(掃除機、ドライヤーなど)を接続し、運転させる。 「▼/▲」ボタンを押下し、「ケイトウデンリョク OK」と表示され、U相、W相ともに「+150W」以上になっていることを 確認する。 →「+150W」未満の場合、手順No.14の主幹電流センサの接続確認が実施できません。	ケイトウテ°ンリョク OK* U:+400₩ ₩:+398₩	
14	「セット」ボタンを押下し、「シュカンケイソクセンサ OK」と表示されることを確認する。 →「ハンテイデキズ」と表示された場合は、主幹用電流センサの接続を確認してください。 「ギャクセツゾク」と表示された場合は、主幹用電流センサの設置方向が間違っています。本紙裏面の図8を参考に、 設置し直してください。 確認後は、「モード/クリア」ボタンを押下して手順No.11に戻り再度実行してください。	シュカンケイソクセンサ OK	
15	「セット」ボタンを押下し、「ブンキセンサ >ダイスウ? 0」と表示されたら、 「▼/▲」ボタンを押下し、登録台数(最大6台)を選択する。右図は分岐計測用CTを6台設置している場合です。	フペンキセンサ >ダペイスウ? 6	
16	「セット」ボタンを押下し、「ブンキセンサ01 >100V:Uソウ」と表示されたら、 「▼/▲」ボタンを押下し、「100V or 200V」を選択し「セット」ボタンを押下する。 その後、「Uソウ or Wソウ」を選択し、「セット」ボタンを押下する。200Vを選択した場合は表示されません。 → 登録台数分の設定を実施してください。	⊃^ンキセンサ01 >100V : Uyウ	
17	「セット」ボタンを押下し、「ブンキセンサカクニン >ヒョウジシマスカ?」と表示されたら、 「セット」ボタンを押下する。 → 手順No.16で設定した設定内容を確認してください。	フペンキセンザカクロン >とョウシペシマスカ?	
18	「セット」ボタンを押下し、「ブンキセンサ セッテイ>ジッコウシマスカ? No」と表示されたら、 「▼/▲」ボタンを押下し、「Yes」を選択し「セット」ボタンを押下する。 → 手順No.16で設定間違いがある場合は、「No」を選択し、修正してください。	フッシキセンサセッティ ショッコウラマスカ? Yes	
19	> ModBus通信を使用し、発電計測用スマートメータ(子メータ)で計測した発電量を取得する 場合、または発電計測用スマートメータ(子メータ)を使用しない場合 → 手順No.20 へ進んでください。		
	>バルス信号を使用し、発電計測用スマートメータ(子メータ)で計測した発電量を取得する場合 → 手順No.22 へ進んでください。		

No.	初期設定手順	計測ユニット表示部	チェック	
20	「セット」ボタンを押下し、「パルスセッテイ>ナシ」と表示されていることを確認する。 →「ナシ」以外を選択された場合、正しく計測することができません。	い [®] ゆえをっテイ >ナシ		
21	手順No.27 へ進んでください。			
22	「セット」ボタンを押下し、「パルスセッテイ>ナシ」と表示されている状態で「▼/▲」ボタンを押下し、 「パルスA」を選択する。 →「パルスA」以外を選択された場合、正しく計測することができません。	∩≞はスセッテイ >∩®はスA		
23	「セット」ボタンを押下し、「パルスA>Single」と表示されていることを確認する。 →「Single」以外を選択された場合、正しく計測することができません。	n≞⊯ZA >Sin9le		
24	「セット」ボタンを押下し、「パルスA キョクセイ >High」と表示されていることを確認する。 →「High」以外を選択された場合、正しく計測することができません。	n°⊯ZA ‡⊴9t⁄ >High		
25	「セット」ボタンを押下し、「パルスA ハバントン5ms」と表示されていることを確認する。 → 「5ms」以外を選択された場合、正しく計測することができません。	n°⊯ZA nn° > 5 ms		
26	「セット」ボタンを押下し、「パルスセッテインセッテイシマスカ No」と表示されている状態で、 「▼/▲」ボタンで「Yes」を選択する。	∩≞⊯えたっテイ >とっティシマスカ Yes		
27	「セット」ボタンを押下し、「システムジョウホウカクニン >ヒョウジシマスカ? Yes」と表示されることを 確認する。	システムシッヨウホウガクロン ンピョウシッシスズガン Yes		
28	「セット」ボタンを押下し、「▼/▲」ボタンを押下して、手順No.3~22の設定が反映されていることを確認する。			
29	「モード/クリア」ボタンを押下し、「ショキセッテイヲシュウリョウシマスカ?」と表示されている状態で、 「▼/▲」ボタンを押下して、「Yes」を選択し、「セット」ボタンを押下し、初期設定を終了する。	ショキセッテイヲ シュウリョウシマスカ?Yes		
	図10 発電計測用スマートメータ(子メータ)の設定 発電計測用スマートメータ(子メータ)をご使用になる際は、設定変更が必要です。 施工・取扱説明書を参照し、設定を行ってください。 設定項目は以下の通りです。			



▶ パルス信号を使用し、発電計測用スマートメータ(子メータ)で計 測した発電量を取得する場合

設定項目一覧

No.	項目	使用時の設定
1	表示方向	上方向
2	パルス定数	10
3	パルス幅	120

▶ ModBus通信を使用し、発電計測用スマートメータ(子メータ)で 計測した発電量を取得する場合

設定項目一覧

No.	項目	使用時の設定
1	通信プロトコル	ModBus

エコめがね取り付け確認



図11 システム構成図

(注:上図は、パルス信号を使用し、発電計測用スマートメータ(子メータ)で計測した発電量を取得する場合の構成図となります。)

主幹用電流センサは、家庭内に流れるすべての電流値を計測できる位置に設置してください。 設置位置、設置方向を間違った場合、正しく計測することができません。



分岐計測用電流センサは、特定負荷の電流値を計測できる位置に設置してください。 設置位置、設置方向を間違った場合、正しく計測することができません。



図13 分岐計測用電流センサの設置方向



図14 計測ユニットの取り付け寸法

